

夏の旅行はもっと 安心&安全&楽しくなる!



illustration by Akira Sorimachi

もうすぐ夏休み! 旅やレジャーの計画が待ち遠しいですね。でも、楽しく&快適に過ごすためには、安心や安全への事前の準備も大切です。7月1日は「旅の安全の日」。どのようなことが必要なのか、考えてみませんか?

(イラスト:大塚砂織/取材・文:宮下二葉)

旅行前、どうして安心&安全の準備が必要なの?

何ごとも備えあれば憂いなし。旅やレジャーもそのとおりで、安心や安全のために準備をしておけば、万が一のときも危険を避けることができたり、サポートを受けて金銭的にも助かったということが少なくありません。そして、こうした準備は旅する人が自分から求めて行うものです。意外と面倒なことはありません。

旅行前にチェックしたい情報や、入っておくべき保険など、安心して旅するための備えについてご紹介します。

1 ウキウキ 海外旅行の前に



現地の最新情報をキャッチしましょう!

見るもの、聞くもの、食べるものなど、いつもの日常と異なる海外の旅行先。解放感いっぱいでもアクティブに行動しがちですが、日本と同じ感覚で過ごしていると予想もしない事故やトラブルに巻き込まれることも。

まず、パスポートや財布は取り出しやすい場所に入れて持ち歩かないこと。荷物を置いて場所取りをするのは、もってのほか。そして、危ない場所には近づかず、不審なものは買わないことも重要です。

外務省領事局長の三好真理さんは「渡航先の治安状況、犯罪の傾向や手口、法律や習慣を知っておくことで多くのトラブルを防ぐことができます。旅の計画中や出発前には、ぜひ外務省の『海外安全ホームページ』をチェックしてください」と勧めます。国や地域別に旅行者に必要な最新情報が発信されているので、参考になります。

外務省の「たびレジ」に事前登録を!

外務省では7月1日から3カ月未満の短期旅行者や出張者を対象とした「たびレジ」制度をスタート。旅行先、日程、連絡先を登録すると、滞在先の最新渡航情報のほか、緊急事態が発生したときも情報がメールで送られてくるので、旅先でも正確な状況がわかります。「いざというときは緊急連絡の受け取りも可能ですし、家族や職場のメールアドレスも登録しておけば、自分の旅先の情報を自動で知らせることができます」と三好さん。もしフリーの旅行でトラブルに見舞われて困ったときは、現地の大統領や総領事館に相談を。適切なアドバイスは解決への大きな一歩となります。

また、海外での感染症などの情報は、厚生労働省検疫所「FORTH」のホームページで発信しています。



外務省たびレジ (7月1日公開)
<http://www.anzen.mofa.go.jp/>



写真:パラオ政府観光局提供(撮影地 カーフ島)

2 海外でも 国内の旅先でも

安心&安全を心がけましょう!

7月1日の「旅の安全の日」に合わせて、一般社団法人日本旅行業協会(JATA)が旅行者に改めて呼びかけるのは、宿泊場所では非常口をしっかりと確認すること、バスの車内ではシートベルトをきちんと締めること。また、夏の旅行では山や海でレジャーを楽しむ人が多い一方で、事故の報告も増えているそう。観光庁審議官・篠原康弘さんによれば「国内外での登山ツアーが数多く販売されていて、万全な安全対策をとっている旅行会社を選ぶことはもちろんですが、旅行者も無理をして参加せずツアー中の体調管理に気を配るといった注意が必要です。ダイビングやシュノーケリングなど水の事故にも気をつけて下さい」という。最近では日本で正式に登録していない外国の会社が日本語のホームページで旅行の申し込みを受け付けており、思わぬトラブルになることもあるので、注意しましょう。



3 やっぱり保険に 入っておこう!

イザというとき、助かります

海外で病気になったり事故に巻き込まれ、医療費や日本への搬送費、家族の現地渡航費などで驚くほど高額な費用がかかる…。誰だって、こうしたピンチに陥る可能性があるのでは? やはり支払いをカバーできる海外旅行保険に加入するのが、なにより安心。しかも「保険会社が現地での入院手続きや日本の受け入れ病院の手配も行うので、対応がスムーズです」と三好さん。クレジットカードに付帯している保険は、一般の保険に比べて補償などが十分ではないケースもあるので、カード会社に確認を。また、一般の傷害保険に入っていない人には国内旅行用の旅行保険もおすすめ。加入料が数百円からとお手ごろで、旅先でのケガやトラブルを補償してくれます。



たとえば(フランス)で
クルーズ中に脳出血で倒れ、救急ヘリで病院へ。入院後、現地入りの家族と付き添いの医師、看護師と帰国。支払い保険金/約1,970万円



たとえば(オーストラリア)で
ホエールウォッチング中、ボートが上下に激しく揺れて転倒し、腰を強打。診断の結果、胸椎圧迫骨折が判明。支払い保険金/約1,050万円



たとえば(国内)で
雨の中、傘を手に湿原の木の道を歩いていたら、足をすべらせて落下。腰椎圧迫骨折となり、後遺障害に。支払い保険金/約270万円

協賛会社一覧

- 三井住友海上火災保険(株) <http://www.ms-ins.com/>
- 東京海上日動火災保険(株) <http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/>
- ジェイアイ傷害火災保険(株) <http://www.jihoken.co.jp/>
- エイチ・エス損害保険(株) <http://www.hs-sonpo.co.jp/>
- エース損害保険(株) <http://www.acegroup.com/jp-jp/>
- AIU損害保険(株) <http://www.aiu.co.jp/>
- (株)ジャタ <http://www.yu-jata.com/>

日本旅行業協会(JATA)は 安心・安全な旅の実現に取り組んでいます

JATAは、会員各社はもちろん観光庁、外務省と緊密に連絡を取り合い、旅の安全管理に対する取り組みを推進してきました。そして、夏の旅行シーズンに向けて安心安全の意識を忘れないようにという思いをこめ、7月1日を「旅の安全の日」と制定。エントリー制で模擬訓練を一齐に実施し、さらなる危機管理体制の強化を目指しています。旅行会社を選ぶときは、安心・安全対策を推進するJATA加盟の旅行会社がおすすです。



旅行会社を選ぶときは、
こちらのJATAマークを
目印に!

250組500名様に!!
プレゼントクイズ実施中



ヒント...JATAのサイトでチェックを!
<http://www.jata-net.or.jp/>



Q. 「旅の安全の日」
ステッカーに描かれている
男の子の名前は?

プレゼント: 抽選で250組500名様に「世界最大級 旅の祭典〜ツーリズムEXPOジャパン〜新しい旅が始まる!」(2014/9/27(土)~28(日)、東京ビッグサイトで開催)の入場券をプレゼント。お申込み: 〒104-8665 東京・晴海郵便局私書箱303号 朝日新聞東京本社広告局「ボンマルシェトラベル」係 <http://www.asahi.com/e-post> (締切は7月21日消印有効) 抽選結果: 発送をもってかえさせていただきます。発送は8月上旬を予定しています。

